

新しい東北 交流会  
in 遠野

日時： 2015年7月26日(日)  
13:30～18:00(13:00開場)

会場： あえりあ遠野 2階  
(交流ホール・中会議室・小会議室・ふるさとライブラリー)  
〔岩手県遠野市新町1-10〕

# コミュニティの形成

復興の最終目標は「まちの賑わい」を取り戻すことです。これには、安心して暮らせる「コミュニティの形成」、生活の糧である「産業・生業の再生」を進めなければなりません。

今回は、「コミュニティの形成」をテーマに、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の復興におけるノウハウや東日本大震災の被災地における課題について共有するとともに、来場者の皆さまとともに「次の一手」を考えます。

## ① 先進事例や被災地での課題を「知る」

**ブース展示・パネル展示・映像上映コーナー**では、コミュニティの形成に向けて活動されている団体の事例を中心に、復興支援活動に携わっている団体の活動を様々な形でご紹介します。

## ② 「コミュニティ形成」について「考える」

ステージエリアで行う**イントロ・セッション**、**来場者との対話型セッション**では、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災のそれぞれの被災地でコミュニティの形成に取り組んでおられる方とともに、会場全体で被災地の課題を共有し、考えていきます。

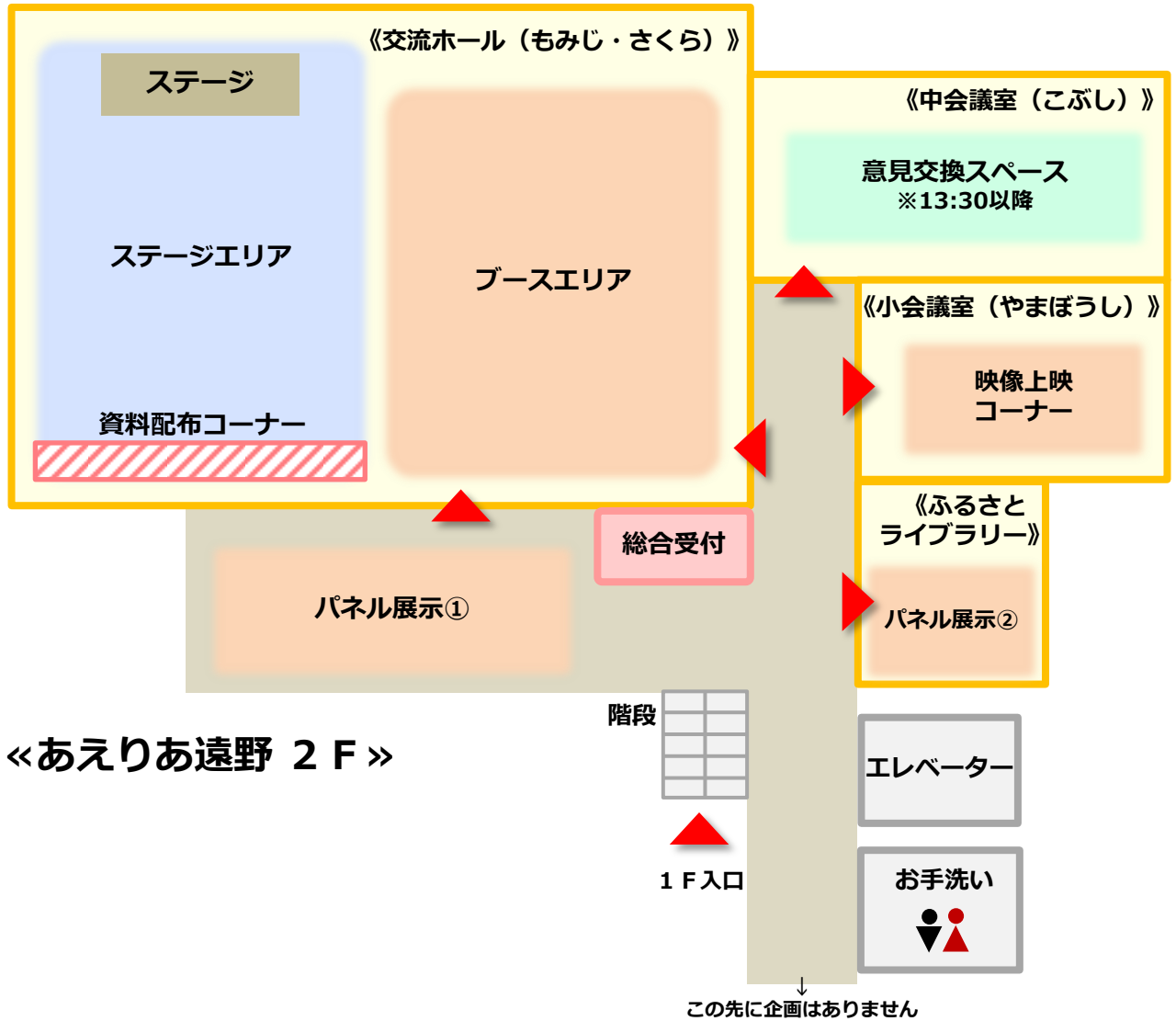
## ③ 多様な参加者と「つながる」

**交流タイム**では、ブース出展者の皆さまや来場者の皆さまと自由に交流いただけます。また、**来場者との対話型セッション**では、登壇者の皆さまや来場者の皆さまと話をしながら進めていきます。

### 【会場のご注意事項・ご案内】

- ※ ご来場時は「**総合受付**」にお越しください。
- ※ **アンケート**をお配りしています。ご協力をお願いします。
- ※ クロークはご用意しておりません。
- ※ 貴重品管理は各自でお願いします。
- ※ ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ※ 喫煙スペースは2Fにございます。
- ※ 会場内を撮影した映像・写真は公開される可能性があります。
- ※ 本会合は**マスコミオープン**です。

# 会場案内図



## ステージ タイムテーブル

※ 時間は都合により変更になる可能性があります。

13:30	13:30-13:45 オープニング（岡本復興庁事務次官、大友岩手県復興局副局長、本田遠野市長よりご挨拶）
14:00	13:45-15:00 イントロ・セッション「復興過程でコミュニティをどう作るか」
15:00	15:00-15:30 特別企画「郷土芸能・祭りを通じたコミュニティ形成」
16:00	15:30-16:45 交流タイム
17:00	16:45-18:00 来場者との対話型セッション
18:00	18:00-18:30 来場者同士での懇親タイム（参加無料）
18:30	

# ステージ企画（ステージエリア）

## ～「コミュニティの形成」について考える～

**Step 1** これまでの事例や課題をお伝えします

13:45-15:00

イントロ・セッション

### 「復興過程でコミュニティをどう作るか」

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の被災地でどのようにコミュニティ形成に取り組んできたか、東日本大震災の被災地が抱える課題は何か、来場者の皆さまに共有いただきます。

ファシリテーター（兼登壇者）

登壇者



本多 史郎 氏

公益財団法人トヨタ財団  
プログラム・オフィサー



小林 郁雄 氏

人と防災未来センター  
上級研究員



阿部 巧 氏

公益社団法人中越防災安全機構  
ムラビト・デザインセンター  
センター長

15:00-15:30

特別企画

### 「郷土芸能・祭りを通じたコミュニティ形成」

震災後、地域活動の中で郷土芸能・祭りがいち早く再開されたことは、地域の人々の励みとなりました。郷土芸能・祭りが地域コミュニティの復興においていかなる役割を担うのかを、実際に取り組まれている方からお話しいただきます。

登壇者

東梅 英夫 氏（白澤鹿子踊り保存会 会長）

小岩 秀太郎 氏（公益社団法人全日本郷土芸能協会 事務局次長）

**Step 2**

皆さまから感想やご意見を集めます（記入様式あり）

15:30-16:45

交流タイム

ブース出展者や来場者の皆さま同士で交流を深めてください。

**Step 3**

登壇者、ブース出展者、来場者の皆さまと意見交換し、次の一手を考えましょう！

16:45-18:00

来場者との対話型セッション

交流タイムの間に会場の皆さまにご記入いただいたご意見と、イントロ・セッションの内容をもとに、ステージと会場との間で双方向の意見交換を行っていただきます。イントロ・セッションと特別企画の登壇者以外の方からも取組のご紹介をいただき、来場者の皆さまと一緒に意見交換を行います。

#### 登壇者の皆様

公益財団法人トヨタ財団 本多 史郎 氏【ファシリテーター】

人と防災未来センター 小林 郁雄 氏

公益社団法人中越防災安全機構 阿部 巧 氏

白澤鹿子踊り保存会 東梅 英夫 氏

公益社団法人全日本郷土芸能協会 小岩 秀太郎 氏

※その他、大船渡市、釜石市、亶理町、自治体版ハズオン支援（久慈市・塩竈市・郡山市）も登壇して発表します。



新  
しい



交流会 in 遠野  
参加者の皆さま

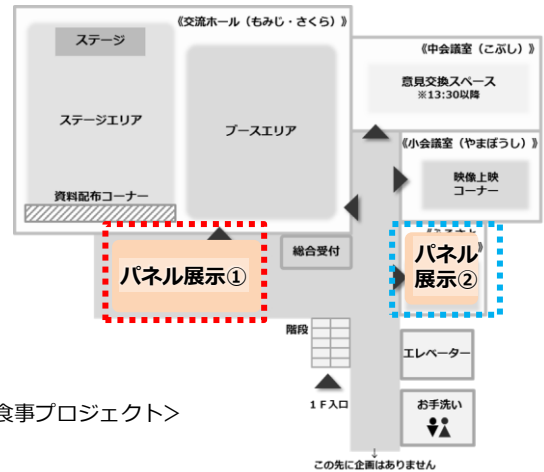
# パネル展示（展示エリア）

被災地の復興の現状や復興庁の取組、東北の被災地で取り組まれている「新たな挑戦」、新たなビジネス、民間企業の復興支援活動など、様々な取組を紹介します。（順不同）

## 被災地の「新たな挑戦」

### 安心して暮らせる「コミュニティの形成」

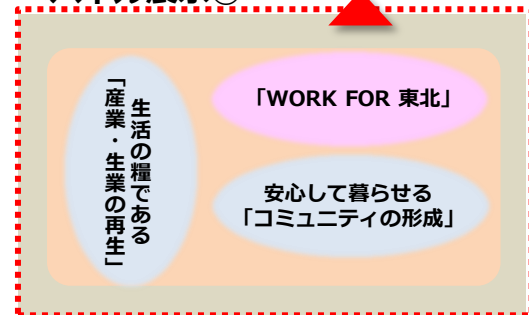
- ・ 相談支援事業・地域生活支援事業・共同生活援助事業・障害者就労移行支援事業・就労継続支援事業ピアサポーター
- ・ 共生事業を展開する農場での子ども育成プログラムの実践
- ・ ひとりひとりの「生きる力」を育む防災・減災の知恵「みんなの防災手帳」
- ・ 被災訓練プログラム「BOSA I CAMP」
- ・ いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガレ！日本！」
- ・ 一人一人がつくる 安全・安心のまちづくり
- ・ 住民主体の地域支え合い活動と事業の立ち上げ支援プロジェクト
- ・ 地域に根ざしたICTサービス活用による頑健で活力ある街づくり
- ・ 地上波「TVデータ放送」による過疎・帰還住民高齢者向け宅配サービス
- ・ 「次世代コミュニティ・サポートセンター」のプロトタイプの開発
- ・ 保育所を活用した生活不活発病防止給食受け取りシステムの構築〈ほっこり食事プロジェクト〉
- ・ 600戸のコミュニティと産業の再生一合意形成と実証実験一
- ・ ICTを活用した無人販売所のプロジェクト
- ・ 地域の遊び場づくり支援事業ー健やかな子どもの成長を育む地域の遊び場プロジェクトー
- ・ 次世代地域包括ケアモデルの構築ーICTを活用した在宅医療と介護の情報連携を中心にー
- ・ EVカーシェアリングによる災害公営住宅コミュニティ形成支援



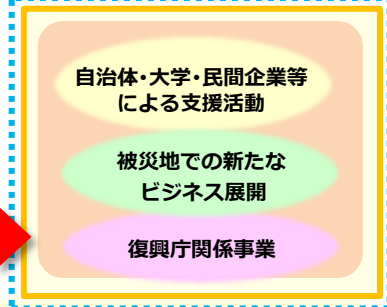
### 生活の糧である「産業・生業の再生」

- ・ スマートフォン等でのカード決済の導入を通じた地域経済の活性化
- ・ 最先端水産業モデル都市形成プロジェクト
- ・ 未利用資源の再活用を通じたビジネスモデルの形成
- ・ 「岩手新事業創造ファンド」の設立
- ・ 岩手県三陸沿岸で考える「豊かな生き方」～復興を牽引する住民たちから学ぶ 地方創生・リーダーシップ・防災の教訓 etc. ～
- ・ 食文化を見つめなおすプロジェクト(気仙沼の魚を学校給食に普及させる会)
- ・ 「郡山ブランド野菜」地域野菜のブランディング化による情報発信システムとネットワークの構築及び地域農業と観光の活性化
- ・ 高校生がつくる キャリア教育プロジェクト
- ・ 漁業資源を起点とした地域内多業種水平連携網の基盤整備事業
- ・ 温泉熱を活かした六次化産業創出 再生可能エネルギー活用したニューツーリズム商品開発
- ・ 里山の暮らしから学べることもある～福島・旧東和町研修プログラム～
- ・ 農業の再生によって地域を活性化する
- ・ 東北発「被災地花き」高品質ブランド創造支援
- ・ 東北グリーン復興事業者パートナーシップ
- ・ 東北発！「百貨店推奨ブランド」育成プロジェクト
- ・ 路線バスを活用した県内流動促進モデルの開発『福島バス物語』をご存知ですか？
- ・ 福島県木材活用CLT建築物推進事業

### 「パネル展示①」



### 「パネル展示②」



### 自治体・大学・民間企業等による支援活動

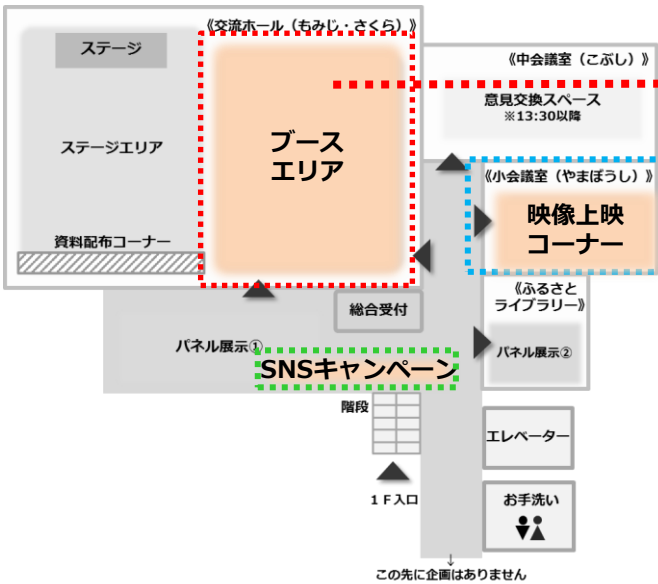
- ・ 株式会社イトーヨーカ堂
- ・ 株式会社磐城高箸
- ・ サントリー株式会社
- ・ 株式会社東芝
- ・ 東北☆家族プロジェクト
- ・ 国立大学法人東北大学
- ・ 農林中央金庫
- ・ 国立大学法人福島大学
- ・ 富士通株式会社
- ・ 株式会社みずほ銀行

### 被災地での新たなビジネス展開

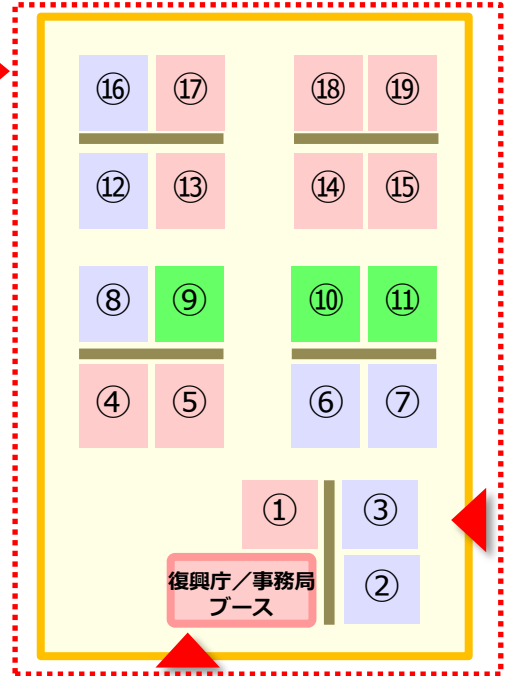
- ・ 株式会社磐城高箸
- ・ 桃浦かき生産者合同会社
- ・ みらい食の研究所
- ・ 島津麴店
- ・ ヤグチ電子工業Radiation-Watch.org
- ・ 梅村マルティナ気仙沼FSアトリエ株式会社
- ・ 企業組合八幡平地熱活用プロジェクト
- ・ 株式会社幸呼来Japan
- ・ 南三陸復興ダコの会
- ・ 自然食品ばんだい

# ブース出展（ブースエリア）

東日本大震災の被災地で、コミュニティの形成をはじめ、移住・定住促進、交流人口拡大に向けた取組、文化・芸術を活かした取組など、様々な活動を行う団体・自治体の取組をご紹介します。



## 《ブースエリア》



## コミュニティの形成、高齢者のコミュニティ活動

### ② NPO法人カリタス釜石

#### 「よりそい つなぐ いのち」

カリタス釜石は東日本大震災の被災者支援のためのボランティアベースから発展した団体です。被災した人々に寄り添いながら、孤立防止に努め自立を促すことを目的とし、行政をはじめ複数の支援団体と協働して活動しています。4年4ヶ月のあゆみをご覧ください。

### ③ 釜石リージョナルコーディネーター協議会

#### かまいし地域包括ケア ”みんなの”プロジェクト

地域包括ケアシステムを効果的に機能させるためには、地域が生活支援・介護予防等の担い手になることが必要です。本事業は復興公営住宅入居者や自力再建者が地域から孤立することを防ぎ、生活支援等の「互助」を機能させるための基盤作りをコミュニティ支援団体、福祉団体、行政が一体となって行います。

### ⑥ 岩手県大船渡市

#### 岩手県大船渡市

大船渡市では、今年度中に災害公営住宅、防災集団移転事業の約8割が完了する見込みなど、着実に復興が進んでいます。今後のコミュニティづくり、地域包括ケアに向けた取組について、有意義な出会いを期待しております！

### ⑦ NPO法人りくカフェ

#### まちのリビングプロジェクト

「りくカフェ」は、平成24年1月に住民・地元医療関係者が中心となり開設したコミュニティカフェです。平成26年11月には本設カフェを建設し、「心と体の健康」をテーマに活動を本格化させました。昨年度より介護予防事業の推進・展開にチャレンジしています！

### ⑧ 一般社団法人日本カーシェアリング協会

#### コミュニティ・カーシェアリングのご紹介

宮城県石巻市で、全国から寄付いただいた車を活用したカーシェアリングの活動をご紹介します。住民自身が車を管理・活用することで有機的な助け合いが起こるサポートを行っています。

### ⑫ NPO法人美しい街住まい倶楽部

#### いわき市豊間地区；600戸のコミュニティと産業の再生

《コミュニティの再生》 ・災害公営住宅にみんなで戻る ・区画整理後（2年後）の町会・隣組の再編、若者が戻る美しい街並みづくり、未利用地活用支援  
《産業の再生》 ・家業から地域協働産業化へ ・仮設店舗の運営 ・区画整理後、復興まちづくり会社で協働直売所、協働加工所等、拠点施設の建設運営

### ⑩ 公益社団法人日本栄養士会

#### ほっこり・ふれあい食事プロジェクト

東北3県の栄養士会と一緒に進めてきた「保育所を活用した生活不活発病防止食事受け取りシステムの構築」事業、略して”東北発！ほっこり食事プロジェクト”の第2弾☆『ほっこり・ふれあい食事プロジェクト』の紹介と、日本栄養士会の活動をご紹介します。

## 企画紹介①

### 映像上映コーナー

会員団体の取組を、映像でご紹介させていただきます。

#### 参加団体：

- 岩手県/特定非営利活動法人いわて連携復興センター/国立大学法人東北大学/国立大学法人福島大学/国立大学法人東京藝術大学/独立行政法人都市再生機構/株式会社仙台銀行/株式会社大和リース/カムイの森有限会社/特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット/一般社団法人日本カーシェアリング協会/東北☆家族プロジェクト

## 移住・定住促進、交流人口拡大

### ⑨ 岩手県久慈市

#### 『もぐらんぴあ』を核とした 観光交流のまちづくり

久慈市の復興のシンボルである久慈地下水族科学館もぐらんぴあを核とした観光交流のまちづくりをご紹介します。

### ⑩ 一般社団法人SAVE TAKATA

#### 農業、IT、若者を通じた移住定住 促進事業

陸前高田市への移住定住者創出に向けた農業、IT、若者分野における取組の紹介

### ⑪ NPO法人wiz

#### 岩手特化型クラウドファンディング「いし わり」と実践型インターンシップの紹介

岩手に特化したクラウドファンディングサイト「いしわり」の紹介と、岩手県内の新規事業を始める企業や起業家のもとに、出身者や地方に関心の高い若者を1ヶ月半現地に送るIWATE実践型インターンシップの紹介を行います。

## 自治体・支援団体

### ① NPO法人いわて連携復興センター

#### NPO法人いわて連携復興センター

昨年度作成した冊子「3.11いわてNPOの記録誌」の紹介を中心に、いわて連携復興センターの概要や取り組みをご紹介します。

### ④ 岩手県遠野市

#### 岩手県遠野市

遠野市は東日本大震災発災直後から沿岸被災地救援のため、かねてから準備・訓練していた後方支援活動に官民一体となって取り組みました。その様子をご紹介します。

### ⑤ 岩手県

#### がんばろう！岩手

岩手県の復興の現状を知っていただくための資料を展示いたします。復興に向け一歩ずつ前進している岩手県を是非ご支援ください。

### ⑬ 文化芸術による復興推進コンソーシアム

#### 文化芸術を復興の力に

当コンソーシアムは、東日本大震災の被災地の復興のために、文化芸術による「心の復興」につながる取組を推進しています。今回のブースでは、2012年10月改訂「3.11東日本大震災を乗り越えて」の記録映像を流し、その他資料等で、被災地における文化芸術による復興推進活動をご紹介します。

### ⑭ 国立大学法人岩手大学

#### 『岩手の復興と再生に』 オール岩大パワーを

岩手大学では、6部門体制（①教育支援、②生活支援、③水産業復興推進、④ものづくり産業復興推進、⑤農林畜産復興推進、⑥地域防災教育研究）からなる三陸復興推進機構を立ち上げ、学生・教職員が一丸となって岩手の復興に努めています。

### ⑮ 公立大学法人岩手県立大学

#### 公立大学法人岩手県立大学

高齢者の社会的孤立を防ぐため、人的体制及びICT（情報通信技術）を活用した高齢者の見守りネットワークを構築することにより、生活支援型のコミュニティづくりを進めることを目的とした取り組みについて紹介します。

### ⑰ 株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業

#### 株式会社日本政策金融公庫

地域や社会の課題解決に取り組む中小企業・小規模事業者、NPOのみなさまを資金面からサポートします

### ⑱ NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

#### NPO法人全国コミュニティライフ サポートセンター

仮設住宅や災害公営住宅、その周辺で暮らす人の日常生活とコミュニティづくり支援に関わる職員研修や、改正介護保険の新しい総合事業を担う人材育成など、なじみ深い地域で、生きがいをもって暮らしつづけられる社会の実現を目指した取り組みをご紹介します。

### ⑲ 国立研究開発法人科学技術振興機構

#### JST復興促進センター

JST委託事業（復興促進プログラム）「実用的服薬支援装置の開発と実地実証試験」として25～26年度にかけて研究開発を実施。装置開発に留まらず、人とのつながりで服用支援が機能することをご紹介します。

## 企画紹介②

### 「新しい東北」SNS拡散キャンペーン

「新しい東北」ロゴの拡散キャンペーンを実施しています。



「新しい東北」パネルと一緒に写真を撮ろう！



撮った写真をFacebookやTwitterでシェアしてください！



## 事務局からのお知らせ

- ✓ Facebookで発信中！（<https://www.facebook.com/newtohoku/>）  
協議会の活動情報や、復興庁・会員の皆様の支援制度・イベント情報等を発信していきます。情報をお持ちの方は、ぜひ事務局までご提供ください！
- ✓ 協議会ウェブサイトのリニューアル実施中！  
より使いやすい、使いたくなるウェブサイトを目指し、デザイン等の変更と情報量の拡充を行っています。
- ✓ 協議会ウェブサイトへの掲載情報募集中！  
協議会ウェブサイトに掲載する情報を随時募集しています。復興に関するイベント情報、被災地の方が利用可能な支援制度、復興支援活動のご紹介等、何か情報がございましたらお寄せ下さい！

## 連携支援制度の募集開始！

New!!

会員の方が連携して実施するワークショップ等の活動について、開催経費の一部を支援します。詳細は、近日中に発表します！！

## 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト アイデア部門募集中！

New!!

被災地の事業者が抱える課題を解決するアイデアを募集します。  
被災地外にお住まいの方や、学生の方など、どなたでも応募できます。  
さまざまなアイデアをお待ちしていますので、ふるってご応募ください！  
※賞金・賞品をご用意しております。

### ◆テーマ

- ① 林業再生に資する間伐材を活用した新たな商品アイデア
- ② 「地熱のある生活」定住促進に向けた新しいライフスタイルの提案
- ③ 甘糍飲料によるウェルカムドリンク企画・販売戦略アイデア
- ④ オール地元産品で製造したスープ餃子の販売戦略アイデア

### ◆募集期間

～平成27年8月28日（金）17時

詳細はこちら <http://www.newtohoku.org/bcontest/i>

## お問い合わせ先

※ 当交流会の開催については、復興庁からみずほ総合研究所へ委託しています。

「新しい東北」官民連携推進協議会 事務局（復興庁）  
（みずほ総合研究所 社会・公共アドバイザー部内）

TEL : 03-3591-8773（平日9時半～17時半）

FAX : 03-3591-8777

E-mail : [nt-info@mizuho-ri.co.jp](mailto:nt-info@mizuho-ri.co.jp)

ウェブサイト : <http://www.newtohoku.org>

Facebook : <https://www.facebook.com/newtohoku>

新しい東北

検索

いいね!